

平成26年度 第2回

福岡市中央卸売市場開設運営協議会

【日時】 平成27年2月2日（月） 14時30分～

【場所】 福岡市中央区長浜3丁目11-3
福岡市中央卸売市場鮮魚市場会館 2階 第1会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 開設者挨拶

3. 議 題

議 題 1	所属部会の決定について	1
-------	-------------------	---

4. 報 告

報告事項 1	新青果市場整備事業の進捗状況について	
	(1) 開場日の仮決定について	3
	(2) 関連事業者の公募について	4
	(3) 生ごみ処理業者の公募による選定について	5
	(4) 木質化について	6
	(5) 太陽光発電について	7

5. そ の 他

(参考資料)	平成 26 年度福岡市中央卸売市場開設運営協議会委員名簿 ...	8
--------	----------------------------------	---

6. 閉 会

議題 1 所属部会の決定について

○所属部会（案）

水産物部会（16名）

（敬称略・順不同）

氏名	選出区分	役職
妹尾 俊見	福岡市議会議員	委員
津田 信太郎	福岡市議会議員	委員
波積 真理	熊本学園大学商学部教授	委員
井出 龍子	消費生活相談員	委員
川端 淳	(株)福岡魚市場代表取締役社長	委員
橋本 清実	福岡中央魚市場(株)代表取締役社長	委員
岩本 英俊	福岡県農林水産部水産局長	専門委員
塔野 逸雄	(株)福岡魚市場専務取締役	専門委員
石金 清	福岡中央魚市場(株)常務取締役	専門委員
安部 泰宏	福岡市鮮魚仲卸協同組合理事長	専門委員
田中 道孝	福岡魚類出荷仲卸組合組合長	専門委員
江口 史生	福岡市中央卸売市場第一種関連事業組合組合長	専門委員
稲益 重樹	福岡水産物商業協同組合理事長	専門委員
柳田 二郎	福岡水産物取引精算(株)代表取締役社長	専門委員
細江 四男美	福岡市漁業協同組合理事	専門委員
佐矢 隆	日本遠洋旋網漁業協同組合専務理事	専門委員

青果部会（12名）

氏名	選出区分	
大石 修二	福岡市議会議員	委員
笠 康雄	福岡市議会議員	委員
小寺 均	福岡県農林水産部長	委員
中村 貞子	福岡市農業協同組合理事	委員
大野 憲俊	福岡大同青果(株)代表取締役社長	委員
城戸 利一	福岡大同青果(株)専務取締役	専門委員
波多江 隆助	福岡市青果卸売商業協同組合理事長	専門委員
木下 康一	福岡市青果商業協同組合理事長	専門委員
松下 廣基	福岡西部青果商業協同組合理事長	専門委員
中村 光明	福岡市園芸振興協会会長	専門委員
鬼木 晴人	福岡市農業協同組合代表理事組合長	専門委員
石川 直茂	福岡市東部農業協同組合代表理事組合長	専門委員

※ 網掛けは、新たに就任された専門委員

食肉部会（7名）

氏名	選出区分	
江藤博美	福岡市議会議員	委員
綿貫英彦	福岡市議会議員	委員
甲斐諭	中村学園大学学長	委員
吉田満	福岡食肉市場(株)代表取締役社長	委員
今村和彦	福岡県農林水産部畜産課長	専門委員
津田隆	福岡食肉市場(株)取締役部長	専門委員
喜多和彦	福岡食肉買参事業協同組合理事長	専門委員

【参考】

福岡市中央卸売市場業務条例（抜粋）

第7章 市場開設運営協議会及び中央卸売市場市場取引委員会

（中央卸売市場開設運営協議会の設置）

第83条 市場における業務の運営に関し必要な事項を調査審議させるため、市長の附属機関として福岡市中央卸売市場開設運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

～ 第84条省略 ～

（組織）

第85条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 前項の委員のほか、特別の事項を調査審議するため必要があるときは、協議会に専門委員を置くことができる。

3 委員及び専門委員は、生鮮食料品等の生産、流通及び消費に関し学識経験のある者のうちから、市長が委嘱する。

～ 第86条から第89条まで省略 ～

（部会）

第90条 協議会に青果部会、水産物部会及び食肉部会（以下「部会」と総称する。）を置く。

2 部会は、会長の指名する委員及び専門委員で組織する。

（以下省略）

報告事項 1：新青果市場整備事業の進捗状況について

(1) 開場日の仮決定について

1. これまでの考え方

- 建物等の建設工事や植栽等の外構工事を平成27年9月までに完了し、同年10月から12月の間に業界による自主整備を行う。これにより、27年末までに施設・設備関係の整備を終え、開場が可能な状態にする。
- 新市場の開場日は、全国の生産者へ前広に周知を図る必要があるため、予期せぬ工事の遅れ等により一度決定し周知した開場日を変更することは大きな混乱を来すため、当面、開場日は28年1月から3月の間とし、工事の進捗状況等を見ながら適切な時期に決定する。



2. 建設工事の状況

- ① 市整備工事
平成26年1月に着工した卸売場棟および市場会館棟建設工事は、27年9月の竣工に向けて順調に進捗している。
- ② 業界整備工事
定温卸売場及び小口冷蔵庫の建設工事は26年11月に着工、物流センター(A・B)についても27年2～3月に着工を予定している。

3. 開場日決定にあたっての課題

- (1) 移転経費の削減
新市場の開場準備が整った後から開場までの間は、現青果部3市場と新市場の管理運営経費を二重に負担することになるので、できるだけ早期に開場する必要がある。
- (2) 円滑な移送計画
正月休み明けで人や荷の動きが激しい新年の時期、並びに移送作業に必要な人員や車両の確保が困難になる年度末の引越シーズンを避ける必要がある。
また、現青果部3市場の設備・機器等を新市場へ移送するためには、現時点での業者見積もりでは約一週間を要するため、業務に支障のない範囲で事前・事後に段階的な移送を行う必要がある。

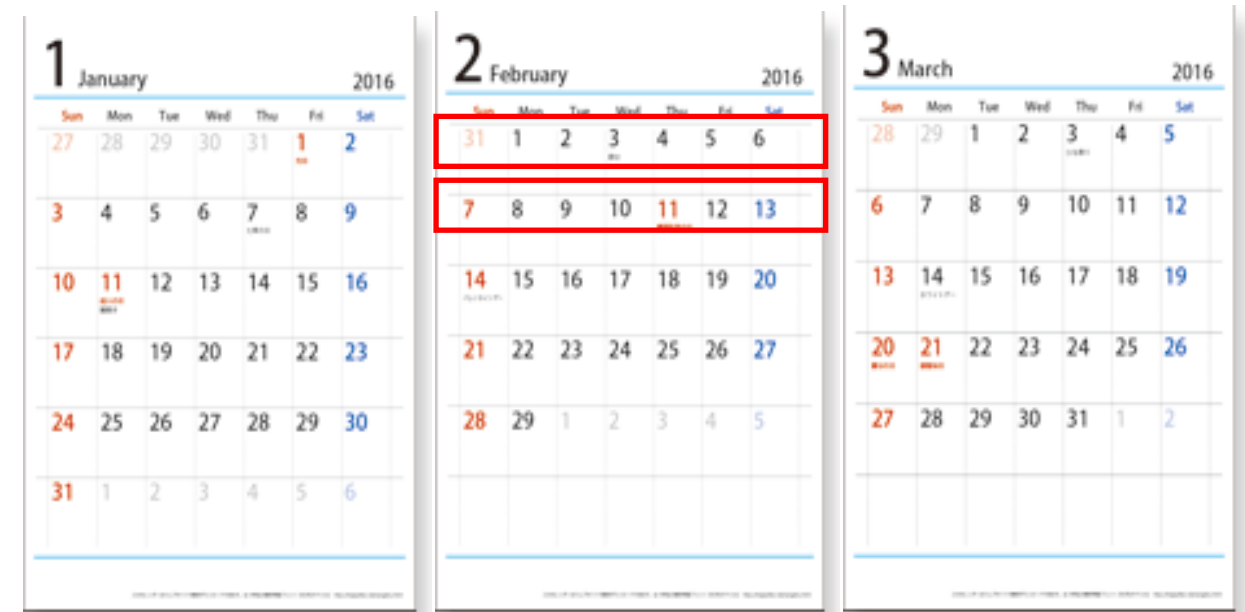
4. 開場予定日

上記事項を勘案し、平成28年1月中旬から2～3週間の移送期間を設定することで、万全の態勢で新青果市場の開場を迎えるため、開場日は次のとおりとし、今後、開場に向けた準備を本格化していく。

平成28年2月上旬（第1週または第2週）

なお、開場日の最終決定は、市場関係者との詳細な調整を踏まえ、全国の中央卸売市場の平成28年休市日が決定される27年夏とする。

【参考】 平成28年（2016年）1～3月カレンダー



(2) 関連事業者の公募について

新青果市場において、市場利用者に便益を提供する関連事業者を公募により選考するもの。

1. 募集区画

(1) 関連業務店舗

大 1区画 (店舗72㎡, 積込所58㎡) …… 赤①

小 1区画 (店舗36㎡, 積込所29㎡) …… 赤②

(2) 飲食店舗

小 3区画 (客席48㎡, 厨房23㎡) …… 青①②③

大 1区画 (客席277㎡, 厨房145㎡, 倉庫21㎡) …… 青④

(3) コンビニエンスストア

1区画 (約110㎡) …… 緑①

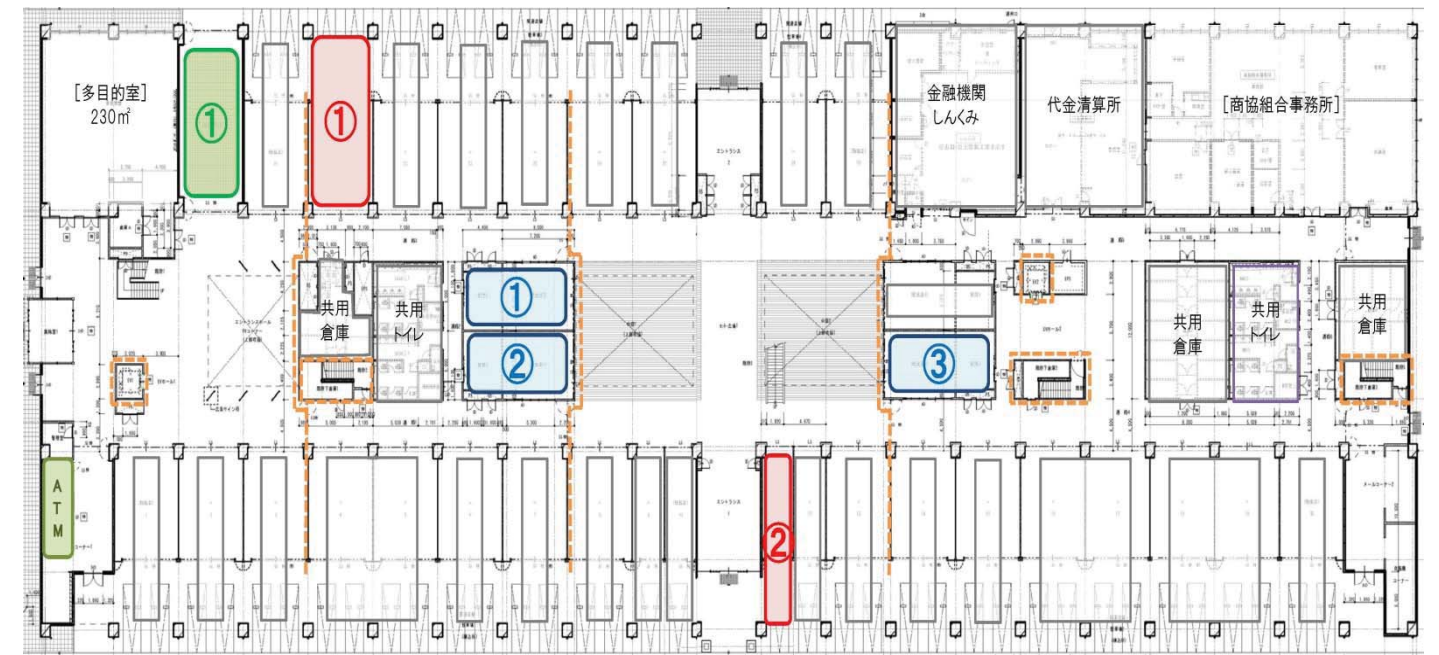
2. 選考方法

開設者、市場関係者等で構成する選考委員会を設置し、書類審査その他の方法(必要に応じてヒアリングや実態調査等)により、選考を行う。

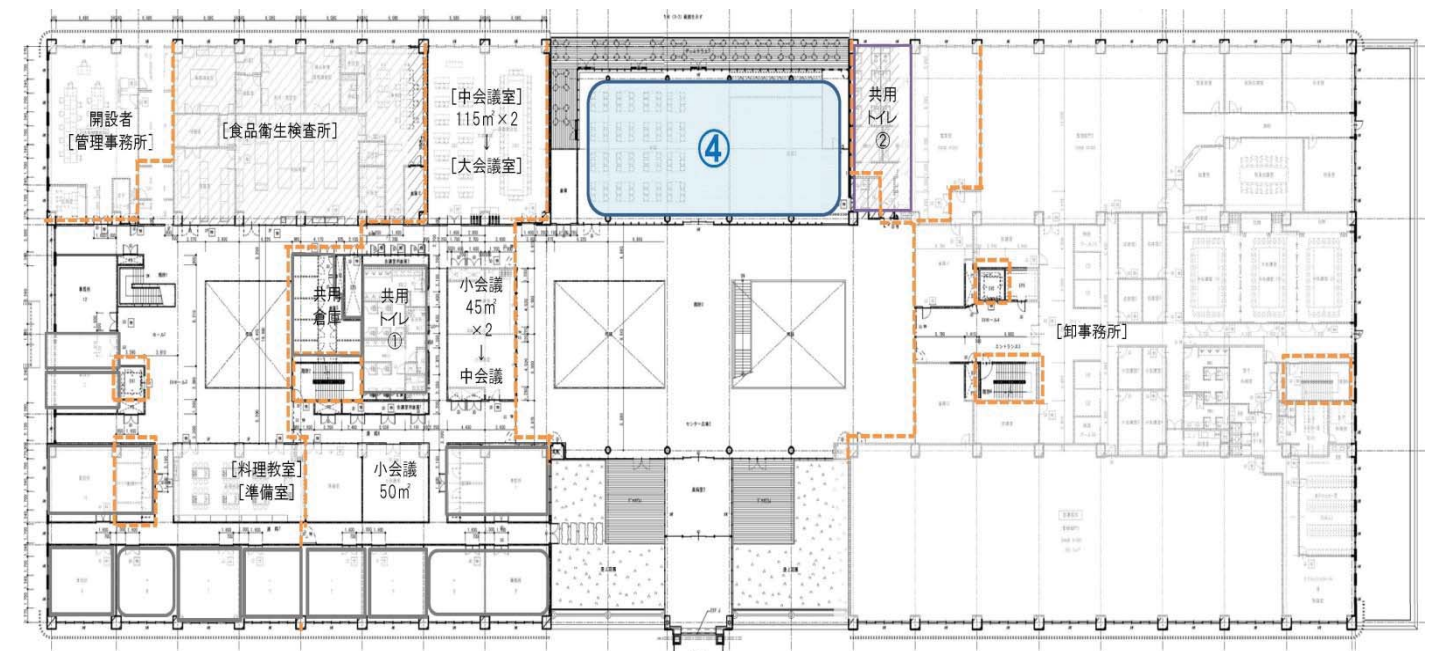
3. スケジュール

平成27年	3月～4月	募集要項配布
	5月	応募受付
	6月	選考・決定
	7月～9月	内装工事等に関する調整
	10月～12月	出店者による内装工事等
平成28年	1月～3月	新市場開場・営業開始

青果市場会館棟 1階



青果市場会館棟 2階



(3) 生ごみ処理業者の公募による選定について

1. 目的

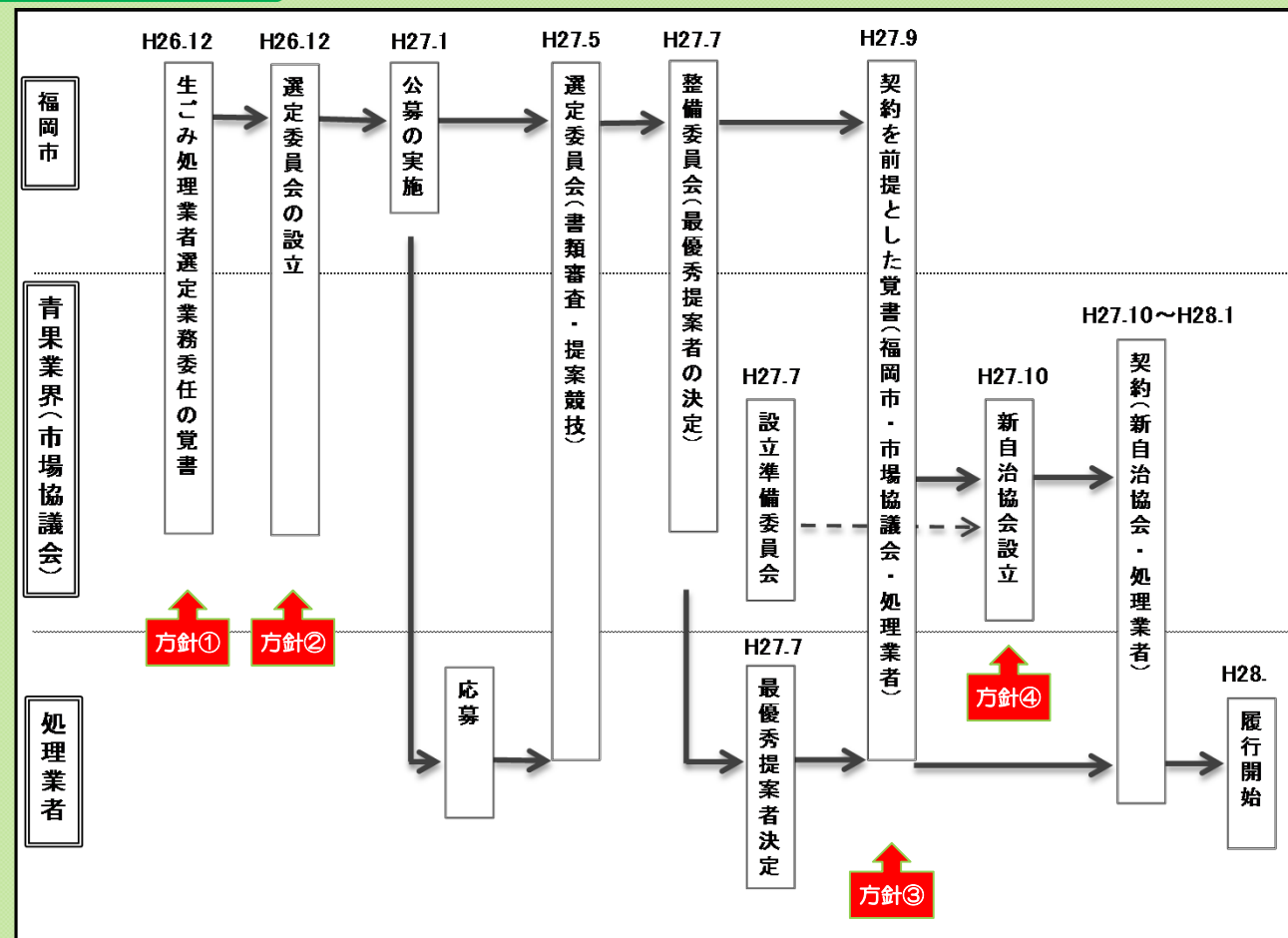
廃掃法では、「廃棄物（生ごみ）は排出事業者（青果業界）が自らの責任において適正に処理すること」と定められている。

そこで、新青果市場における生ごみの排出事業者となる青果業界には生ごみ処理に対する専門的な知識や公募選定手続きの経験がないことから、本市がそれらの事務を代行することで、環境にやさしい市場づくりに寄与するものとする。

2. 実施方針

- 方針①** 本市が公募による選定手続きを代行するに当たって、本市と市場協議会との間で公募・選定・契約に至るまでの業務の委任内容を確認する覚書を締結する。
- 方針②** 本市は公募の事務局として公募により最優秀提案者を選定するために、市場協議会のメンバーで組織された選定委員会を設立する。
- 方針③** 最優秀提案者選定の時点では事業主体となる新自治協会が設立されていないため、本市・市場協議会・生ごみ処理業者との間で契約を前提とした覚書を締結する。
- 方針④** 市場協議会は生ごみ処理業者との処理委託契約の締結までに、事業主体となる新自治協会を設立するものとする

3. スケジュール



4. 公募概要

1. 公告日
平成27年1月30日(金)
2. 公募に付する事項
 - (1) 事業名 新青果市場生ごみ処理事業
 - (2) 履行場所 福岡市東区みなと香椎3丁目28番2
 - (3) 履行内容 ①場外処理：収集運搬処理業務委託契約
②場内処理：建設及び運転管理等を含めた包括的施設リース契約
 - (4) 履行期間 ①場外処理：1年間（年度毎の更新契約）
②場内処理：10年間（長期リース契約）
 - (5) 処理料金 提案及び契約協議による
 - (6) 処理方式 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（略、廃掃法）」及び「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（略、食品リサイクル法）」を遵守した方式とする。（減量化、再資源化）
 - (7) 主要諸元

項目	内容
排出時期	原則として開市日のみの排出とする
排出状況	新青果市場で排出される野菜、果物屑（一部、包丁等の金属片が混入する可能性あり）
予測発生量	1.6～2.2トン/日程度（430～590トン/年、開市日数約270日/年）
必要処理能力	2トン/日

3. 審査及び最優秀提案者の選定

審査は、市場協議会が設置する「新青果市場生ごみ処理業者選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）において、次のとおり行う。

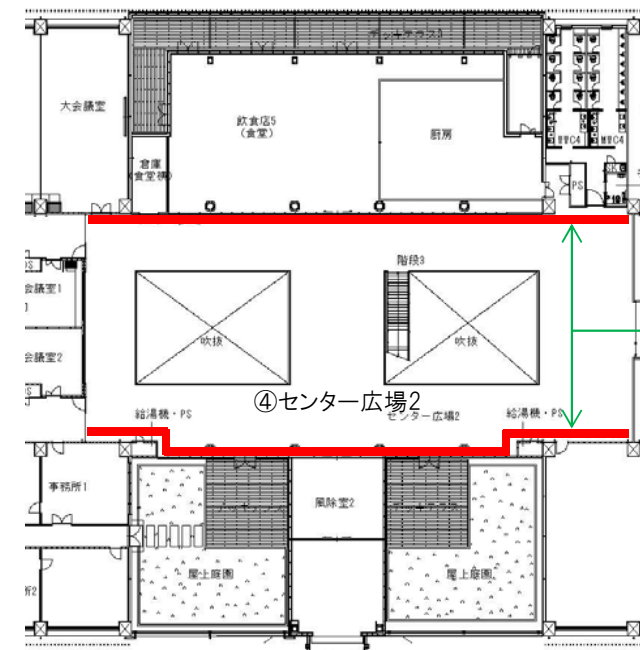
(1) 審査項目及び配点

選定委員会において、企画提案書を以下の審査項目に分けて審査・採点する。

審査項目	配点
処理方式は関係法令に沿って完結したものとなっているか	20
施設の稼働実績は問題ないか	20
円滑な業務遂行が見込まれる運営体制となっているか	20
価格の妥当性、経済性	40
合計	100

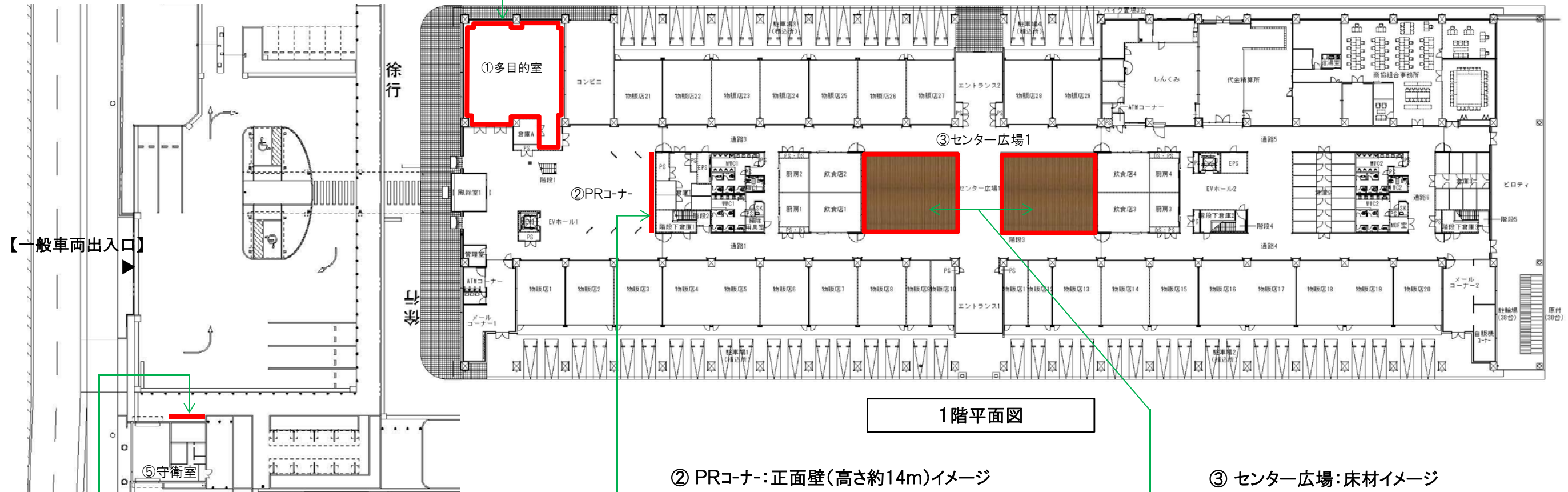
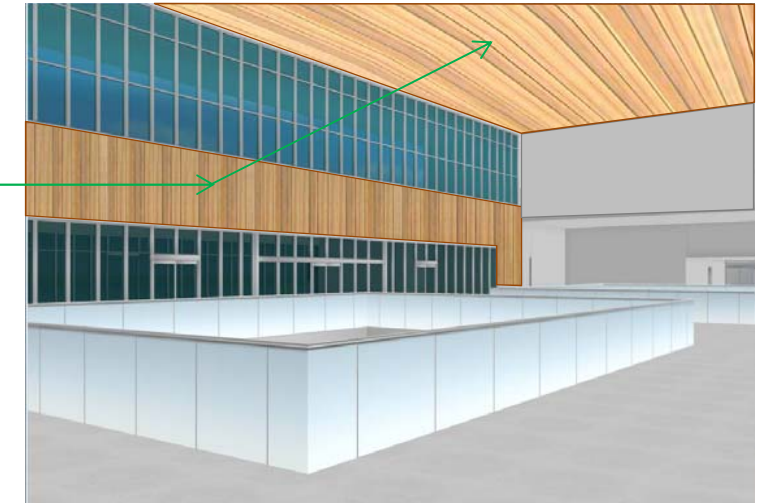
(4) 木質化について

① 多目的室:内装腰壁(床から90cmの高さ)イメージ



2階平面図

④ 2階センター広場:天井・壁材イメージ



1階平面図

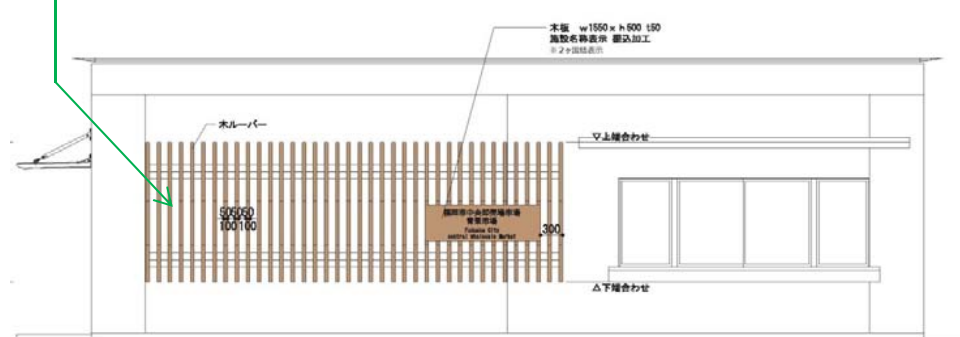
② PRコーナー:正面壁(高さ約14m)イメージ



③ センター広場:床材イメージ



⑤ 守衛室:一般車両出入口側壁面サインイメージ



(5) 太陽光発電について

1 公募経過

平成 26 年 7 月から 11 月にかけて太陽光発電事業に係る事業提案公募を行ったところ、4 社から提案を受け、11 月に開催した選定委員会で下記の最優秀提案者を選定した。
平成 26 年 12 月 26 日に契約に向けて基本協定を締結した。

最優秀提案者	
会社名	九電みらいエナジー株式会社
代表者名	代表取締役社長 穂山 泰治
所在地	福岡市中央区渡辺通二丁目 4 番 8 号

2 事業概要

- (1)設置場所 新青果市場卸売場西棟屋根（東区みなと香椎 3 丁目 2 8 番 2）
- (2)契約形態 建設工事及び保守管理を含めた包括的施設リース契約
- (3)公募条件及び提案内容

項目	公募条件	提案内容	備考
発電出力	1,000kW 以上	1,343.6kW	
年間発電量	1,000,000kWh 以上	1,382,171kWh	
年間売電金額（税抜）	32,000 千円以上	44,229 千円	H26 買取単価
年間リース料金（税抜）	26,817 千円以下	25,980 千円	
年間事業収支（税抜）	5,183 千円	18,249 千円	

3 課題と対応

九州電力は、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー（以下、再エネ）の急速な拡大に伴い、電力の安定供給が困難となる見通しとなったことから、一部を除き、九州本土における再エネの接続申込みに対する回答を保留していたが、平成 26 年 12 月 22 日に以下の条件で、再エネの接続申込みの回答を再開することとなった。

【太陽光発電】

- ①出力制御の対象の拡大→500kW 未満まで拡大
- ②年間 30 日までの無補償での出力制御の時間制への移行→年間 360 時間まで

今後は、九州電力から出された条件や 1 月 28 日に開催された事業者向け説明会の内容をふまえて、九電みらいエナジーを交えて事業収支等の検討を行い、契約の可否を判断するものとする。

4 今後のスケジュール（予定）

	内 容	日 付
1	基本協定締結	平成 26 年 12 月 26 日(金)
2	経済産業省への設備認定申請	平成 27 年 1 月 9 日(金)
3	九州電力への接続契約の申込み	平成 27 年 3 月下旬
4	リース契約締結	平成 27 年 4 月下旬
5	太陽光パネル設置工事	平成 27 年 5 月～
6	発電開始	平成 27 年度中

○完成予想図



福岡市中央卸売市場開設運営協議会 委員名簿

(敬称略・順不同)

氏 名	選 出 区 分	備 考
津田 信太郎	福 岡 市 議 会 議 員	会 長
妹尾 俊見	福 岡 市 議 会 議 員	
大石 修二	福 岡 市 議 会 議 員	
笠 康雄	福 岡 市 議 会 議 員	
江藤 博美	福 岡 市 議 会 議 員	
綿貫 英彦	福 岡 市 議 会 議 員	
小寺 均	福 岡 県 農 林 水 産 部 長	
甲斐 諭	中 村 学 園 大 学 学 長	副会長
波積 真理	熊 本 学 園 大 学 商 学 部 教 授	
井出 龍子	消 費 生 活 相 談 員	
中村 貞子	福 岡 市 農 業 協 同 組 合 理 事	
川端 淳	(株)福岡魚市場 代表取締役社長	
橋本 清実	福岡中央魚市場(株) 代表取締役社長	
大野 憲俊	福岡大同青果(株) 代表取締役社長	
吉田 満	福岡食肉市場(株) 代表取締役社長	

(15名)